

特集1

平成十二年度予算と財政の健全化

新年度(平成十三年四月から平成十四年三月まで)の県の当初予算が決まりました。また、財政健全化の具体的な方策などを掲げた「財政健全化計画」をご紹介します。



熊本県知事 潮谷 義子

そよ風が心地よい季節となりました。私が、知事に就任しまして、早いもので一年になります。この一

年は、県政を担ってひたすらに走り続けてきましたが、皆様のお力添えで着実に県政を進めることが出来たのではないかと思っています。

平成十三年度は、県にとつては財政健全化に向け第一歩を踏み出すとともに、県総合計画「パートナーシップ21くまもと」の実現への実質的なスタートを切る年です。

ことに財政健全化に向けては、今年二月に「財政健全化計画」を策定したところであり、二十一世紀の熊本の礎を築くという固い決意で取り組んでまいります。

そして、このような厳しい財政状況のもとにあつても県政を一時も停滞させることなく、県総合計画の「21世紀への挑戦プロジェクト」への財源の重点的・効率的な配分に努めながら、産業の振興、社会基盤整備、少子高齢社会への対応、「環境立県くまもと」の実現など、県民の皆様とのパートナーシップを大切にしながら、本県の将来への確かな道筋をつくってまいります。

また、併せて九州新幹線の整備、市町村合併の推進、ひのくに新世紀総体やAPEC人材養成大臣熊本会合などの開催に向け、着実に取り組んでまいります。県民の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【予算編成の基本方針】

○平成十三年度当初予算の編成に当たっては、厳しい財政状況のもと、財政健全化計画を踏まえ、事務事業の徹底した見直しや歳入確保に向けた取り組みを進めました。

また、県総合計画の「21世紀への挑戦プロジェクト」や県内経済の活性化に向けた施策などへの限られた財源の重点的・効率的な配分に努めるなど、新世紀の県勢発展の基礎となる施策の展開にできる限り配慮した予算となるよう編成しました。

【新世紀を拓く産業が息づくくまもと】

○大消費地に農林水産物の販売情報拠点を設置し、消費者ニーズの把握や販売フェアの開催など戦略的流通販売対策を展開します。

○中心市街地活性化への支援の充実や商店街活性化のための施設整備・ソフト面での支援を図り、賑わいのある街づくりに努めます。

○雇用創出効果の高い分野の技術者養成のため、平成十四年度に県立技術短期大学校に「映像システム技術科」を設置する準備を進めます。

○水産資源の回復のため、有明海などの総合的な調査により、魚介類の減少などの原因究明に努めるとともに、赤潮被害に対する金融支援策を講じます。



【新世紀を支える基盤が充実するくまもと】

○九州新幹線の整備を進めるとともに、連続立体交差事業をはじめ熊本駅周辺の整備に取り組みます。

○平成十一年台風十八号の災害復旧を進めるとともに、高潮・高波情報の伝達のための観測機器を設置するなど危機管理体制の整備に取り組みます。



熊本駅付近イメージ写真

○情報基盤整備として県庁と地域振興局を高速通信網で結ぶネットワークを整備し、県民サービスの一層の向上を図ります。

【新世紀に生きる「ひと」が輝くくまもと】

○ストーカー行為などの捜査や被害者に対する支援・保護活動を推進します。

○家庭や地域における子育てを応援するため、モデル地域における子育てネットワークを立ち上げ、子育ての支援体制を整備します。



○ユニバーサルデザインの考え方を、さまざまな分野に取り入れていくとともに、この考え方を踏まえながら、新たなやさしいまちづくり推進計画を策定します。

○「熊本県教育改革大綱」に基づき、地域住民の声を学校運営に生かすため、学校評議員制度の導入を行うなど、教育の改革を推進します。

【次の世代へ継承する豊かな環境をはぐくむくまもと】

○県行政における環境配慮を一層推進するため、環境に関する国際規格であるISO14001の認証取得を目指します。

○熊本地域において、地下水の受益者の応分の負担をもとに、地下水保全事業を支援するシステムの構築に向けて取り組みます。



○新たに一般廃棄物を含めた廃棄物全般に関する「熊本県廃棄物処理計画」を策定します。

【新世紀をともに築く「協働社会」くまもと】
○県民の自主的・主体的な活動を支援する拠点機能を持った県民交流プラザ(仮称)の整備を行います。

○本県の地域性を踏まえた「男女共同参画条例」制定に向け検討を進めるとともに、家庭内暴力(ドメスティックバイオレンス)への対応を講じます。



○合併市町村のまちづくりなどを支援するため、市町村合併特別交付金制度を創設するなど、市町村合併を積極的に推進します。